

資料4

# 聴覚障がい児早期支援体制整備 の取組について



神奈川県障害福祉課

# 聴覚障がい児支援中核機能モデル事業の構成

- 1 聴覚障害児に対応する協議会の設置
- 2 聴覚障害児支援の関係機関との連携
- 3 家族支援の実施
- 4 巡回支援の実施
- 5 聴覚障害児の支援方法に係る研修の実施



# 1 聴覚障害児に対する協議会の設置

聴覚障がい児及びその家族に対し、早期から必要な支援を切れ目なく提供できるよう、各分野の関係機関等が連携した支援体制を整備し、早期支援を推進するため、「神奈川県聴覚障がい児早期支援体制整備推進協議会」を設置している。

## 2 聴覚障害児支援の関係機関との連携

医療・保健と切れ目なく連携しつつ、既存機関との連携を強化し、聴覚障害児の乳児からの対応を強化する。

(1) 市町村

(2) 医療機関

(3) ろう学校



## (1) 市町村

療育担当部署に連絡をして、中核機能が設置されたこと、家族教室等の事業の紹介などを行う。また、課題等についても情報交換し、顔の見える関係づくりを目指して順次訪問中。

### [訪問実績]

- ・平塚市、大磯町、小田原市、大和市、厚木市
- ・伊勢原市、茅ヶ崎市、逗子市、鎌倉市



## (2) 医療機関

子どもの診断や支援に関わってる県内の代表的な病院への訪問をしている。

【訪問先】

小田原市立病院等



### (3) ろう学校

各学校の教職員の異動もあるため、新年度の挨拶、情報交換を行っている。

#### [訪問実績]

- ・県立平塚ろう学校
- ・横須賀市立ろう学校
- ・県立相模原中央特別支援学校



# 3 家族支援の実施

保護者に対する相談、補聴器等の情報提供、  
家族教室による支援を行う。

(1) 相談支援

(2) 家族教室



## (1) 家族支援

聴覚障がい児の家族を対象とした療育や日常生活等の相談、補聴器を活用できる社会資源等の情報提供や他の支援機関への繋ぎ等を行っている。

### 【実績】

相談件数(延べ): 483件

※令和6年1月末時点



## (2) 家族教室

聴覚障がい児や家族同士が交流する場として家族教室を開催している。今年度は毎月、実施している。

- 第1回 4月19日(水)13:30～15:00 テーマ:聞こえにくいってどんな感じ?  
会場:聴覚障害者福祉センター 6家族16名(聴覚障がい児7名)参加
- 第3回 6月10日(土)13:30～15:00 テーマ:絵本を楽しもう!  
会場:聴覚障害者福祉センター 6家族20名(聴覚障がい児7名)参加
- 第6回 9月27日(水)13:30～15:00 テーマ:先輩ママの体験談を聞こう  
会場:小田原市民交流センター 4家族10名(聴覚障がい児4名)参加

## 家族教室参加者の声

- ・補聴器なしでも反応があり、言葉も分かっている様子でしたが、体験してみると「こんなにも聞こえていないの?」と驚いた。
- ・小さいころから、大人になるまでの色々な話が聞けて良かった。
- ・子どもが今後どんな風に生活を送るか、少し想像できてよかった。



## 4 巡回相談の実施

地域の児童発達支援センター、保育所等を巡回し、職員に対して支援を行う。

- (1) 児童発達支援センター
- (2) 保育所、幼稚園
- (3) 相談支援事業所



## (1) 児童発達支援センター

政令・中核市を除く県域16か所のうち、昨年度末までに2か所、4～7月までに14か所、合計16か所の児童発達支援センターの巡回を行った。

※巡回してみると、実際に聴覚障がい児が通園している児童発達支援センターはそれほど多くないが、聴覚障害者福祉センターとのネットワークができつつある。



## (2) 保育所

保育園からの要望で巡回相談を実施し、聴覚障がい児支援のコミュニケーション支援や保護者の気持ちの受け止めなどについて必要な相談支援を行っている。

令和5年3月に中核機能が実施した研修会に参加した保育園から要望があった。

### [訪問実績]

9施設(藤沢市、鎌倉市、茅ヶ崎市)

※令和6年1月末時点



### (3) 相談支援事業所

児童発達支援センターを訪問した際に、サービスを利用する前に障害児支援利用計画を作成することになる相談支援事業所を訪問してはどうかと助言があった。

⇒7月に茅ヶ崎市の施設に訪問



## 5 聴覚障害児の支援方法に係る研修の実施

保育園、幼稚園、児童発達支援センター等の乳幼児が通う施設の職員を対象として、聴覚障がい乳幼児の早期発見・療育の必要性、聴覚障がい児との接し方等に関する研修会を実施する。年度内に3回実施。

- 第1回:6月28日 13:00～15:00 参集・オンライン併用  
会場:聴覚障害者福祉センター  
講演「具体的な聴覚障がい乳幼児の支援方法について」  
講師:大石 視朗氏(元 県立平塚ろう学校教諭)  
定員:20名  
参加者:53名(参集4名・オンライン49名)

